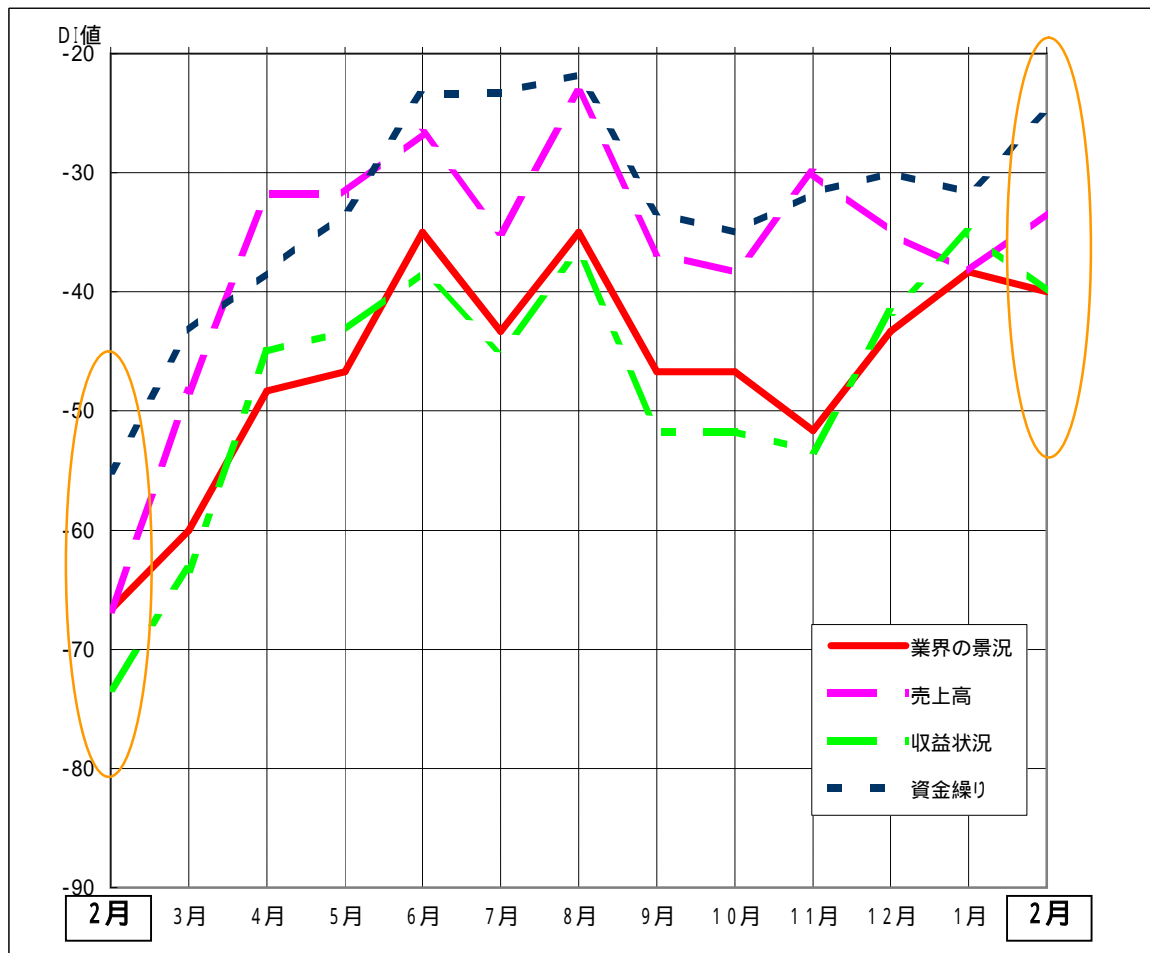


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成22年2月～平成23年2月

単位:ポイント



	H22												H23
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
業界の景況	-66.7	-60.0	-48.3	-46.7	-35.0	-43.3	-35.0	-46.7	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3	-40.0
売上高	-66.7	-48.3	-31.7	-31.7	-26.7	-35.0	-23.3	-36.7	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3	-33.3
収益状況	-73.3	-63.3	-45.0	-43.3	-38.3	-45.0	-36.7	-51.7	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0	-40.0
資金繰り	-55.0	-43.3	-38.3	-33.3	-23.3	-23.3	-21.7	-33.3	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7	-25.0

2月のDI値は前年同月に比べ、全項目が改善され、これで14ヶ月連続で全項目改善となった。「業界の景況」DI値は26.7ポイント、「売上高」DI値は33.4ポイント、「収益状況」DI値は33.3ポイント、「資金繰り」DI値は30ポイントとそれぞれ改善した。製造業と非製造業との比較では、非製造業の方が「収益状況」で34.9ポイント、「売上高」で22.4ポイント、「業界の景況」で21.4ポイント低い値を示しているものの、その差は前月よりも縮まりつつある。なお、前月比で見ると、「売上高」は5ポイント、「資金繰り」は6.7ポイント改善したが「業界の景況」は1.7ポイント、「収益状況」は5ポイント悪化した。総じて、売上はあるものの収益状況は改善していないという声が増えてきている。

組合の特記事項からは、鉄鋼・金属製造業、一般機器製造業では、持ち直しの動きはあるものの、原材料費の上昇が収益状況を圧迫しているという声や、非製造業ではサービス業を中心に、需要が減少しているという声が多い。蒟蒻製造業、砂糖卸売業では、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への参加動向を注視する声も出ている。